

井筒俊彦 神秘主義を原点とし、イスラームを介して、ギリシャから日本までの宗教を統一的に解釈した天才的哲学者。

いつつとしひこ

第一次大戦始 1914 = 東京で、新潟出身の米問屋次男井筒信太郎と芸者シン子の子に生まれる。

資産家でありながら、求道者としての矛盾を抱える父から、臨済禅の伝統を託され、独自の内観法を教えられ、いわば、「無」が支配する家に育ったため、自らの存在も限りなく「無」にし、人嫌いに育つ。

原敬首相暗殺 1921 = 7歳 :

関東大震災 ・ 1923 = 9歳 :

治安維持法 ・ 1925 = 11歳 : 妹が誕生。

満州事変 ・ ・ 1931 = 17歳 :

五一五事件 ・ 1932 = 18歳 :

帝人疑獄事件 1934 = 20歳 : 青山学院中等部を経て、慶応義塾大学文学部英文科に入学。退屈でレベルの低い講義・講読に失望するが、西脇順三郎には決定的影響を受けて、言語学の道を歩み始め、国文科の折口信夫にも眼を開かせられて、その両者を結びつける役をも担ううち、文学発生の起源を「憑依」とする折口の影響で、預言者への関心が始まる。

日中戦争始 ・ 1937 = 23歳 : 慶応義塾大学文学部英文科を卒業。卒業と同時に同学部助手に就任。

第二次大戦始 1939 = 25歳 : 妹が死去。

日米開戦 ・ ・ 1941 = 27歳 : 西田幾多郎の「無」の哲学とともに、大東亜共栄圏を支えた、「アジア主義」の大川周明から同志と見なされ、その支援で、2人のタートル人から、アラビア語の魅力とイスラームへの深い関心を植え付けられる。

・ ・ ・ ・ ・ 1942 = 28歳 : 「アラビア思想史～回教神学と回教哲学」を処女出版。東亜研究所の一員として「東印度に於ける回教法制(概説)」を刊行、大川周明「回教概論」の大部分を執筆。「世界史の哲学」を主張する京都学派のなかでも、西田と鈴木大拙の薫陶を受け、「空」の哲学を展開する西田啓治と親交。のちに、「観照の生の修業が極限に達し、生に絶望して」と記すことになる。

年金+総武装 1944 = 30歳 : 父が死去。「京都学派による巨大シリーズ(世界史講座)の、実際に刊行された5冊のうちの「西亜世界史」のなかの、イスラーム関係の論考を一手に引受け、精力的に執筆、のちの研究すべての萌芽となる。

敗戦 ・ ・ ・ 1945 = 31歳 :

教師になっても、弟子たちとすらすらうまく距離をとることができないほどであった。母が死去。西脇の後任として同学部助教授。*自ら「無垢なる原点」と記し、ディオニュソスの憑依と、プラトンへの回帰を唱えたプロティノスの一節全をキーとする「神秘哲学(～ギリシャの部)」で哲学の発生を、

朝鮮戦争始 ・ 1950 = 36歳 :

独立回復 ・ ・ 1951 = 37歳 : 慶応義塾大学通信教育部のテキスト「露西亜文学」を刊行、

メデー事件 ・ 1952 = 38歳 : 豊子と結婚。預言者の生涯を破格の校正で論じた「マホメット」で宗教の発生を、

TV放送始 ・ ・ 1953 = 39歳 : 助手になった鈴木孝夫と、以後10年近く同棲関係になるとともに、言語学、とくに、オグデンとリチャーズの「意味の意味」に依拠する意味論研究に専念。4年前に出版された、西谷啓治の「ロシアの虚無主義」に影響されてか、「ロシアの人間～近代ロシア文学史」で文学の発生を、その起源に、いずれも「憑依」が位置づけられているが、以後、文学を論じることは無く、対象は預言者ムハンマドに絞られる。

自衛隊発足 ・ 1954 = 40歳 : 同学言語文化研究所教授に就任。

国連加盟 ・ ・ 1956 = 42歳 : 講義を素材に*初の英文著作「言語と呪術」を出版、「一般言語学」で有名なソ連の言語学者ヤコブソンに高く評価され、その推薦で、2年間海外研究、以後、世界へ向けて、英文で、コーランを素材に意味論的分析、原典からの厳密な日本語訳「コーラン」。

イスラームの 1958 = 44歳 : 妻豊子が、特異な夫とその周辺をモデルに、生涯唯一まとめた小説集「白磁盒子」出版。「英文」「コーラン」における倫理的な術語の構造。

安保闘争 ・ ・ 1960 = 46歳 : 井筒の勤で、鈴木はライズイ「意味と構造」を翻訳出版、言語学者になっていく。「文学博士」。

全国総合計画 1962 = 48歳 : カナダのマックギル大学客員教授となる。「必然のように、「コーラン」が体現する「意味」の革命の解釈に取り組むべく、イスラーム研究を再開、英文「クルアーンにおける神と人間～その世界観と意味論」。「コーラン」を改訳再刊。

東京初光 1964 = 50歳 : 鈴木のととは、黒田壽郎と同棲、黒田はイスラーム学者になっていく。「英文」「イスラーム神学における信の構造～その意味論的分析」。

大学紛争始 1965 = 51歳 : 英文「スーフィズムと老荘思想」(二巻)にみるように、イランのイスラーム哲学(存在一性論)を、

いざなぎ景気 1966 = 52歳 : 1933年に、スイスの富豪によって、ユング思想をベースに設立され、1953、54年に招かれた鈴木大拙を継ぐ美濃部都知事 1967 = 53歳 : かたちで、「招かれたエラノス会議で、初年度から、老荘思想と比較考察、

最終講義「大乘起信論」をもって、退職し、マックギル大学正教授に就任。哲学者最初の頭脳流出になる。

雷ヶ岡ビル 1968 = 54歳 :

全共闘ビーク 1969 = 55歳 : 英文「存在の概念と実在性」出版。

ドクショック ・ 1971 = 57歳 : 「イスラーム神学における信の構造」を、牧野信也が邦訳した「意味の構造」が出版される。

日中国交回復 1972 = 58歳 :

石油ショック 1973 = 59歳 :

アラブ-ル事件 1975 = 61歳 : マックギル大学退職し、*イラン王立哲学研究所の教授に就任する一方、処女出版の「アラビア思想史」を増補改訂して、「イスラーム思想史」として出版し、個別の日本に回帰、

JALハイジャック ・ 1977 = 63歳 : エラノス会議での禅に関する主要な講演を収録した英文「禅仏教の哲学に向けて」出版。

成田衝突 ・ ・ 1978 = 64歳 : 「神秘哲学」を、第1部「自然神秘主義とギリシャ」、第2部「神秘主義のギリシャ哲学的展開」として、「ロシアの人間～近代ロシア文学史」も再刊し、「ルーミー語録」を邦訳、「ホメイニのイラン革命が起こり、

革新大敗北 ・ 1979 = 65歳 : 「イランから帰国すると、27年前の「マホメット」を増補訂正した「イスラーム生誕」、

貿易摩擦問題 1980 = 66歳 : 「イスラーム哲学の原像」、

・ ・ ・ ・ ・ 1981 = 67歳 : 慶応義塾大学名誉教授。「イスラーム文化～その根底にあるもの」、

中曽根内閣 1982 = 68歳 : 日本学士院会員となる。「エラノス会議最終講演となるが、この間、日本独自に講演集が刊行されている。

ドイツワールド 1983 = 69歳 : 「コーランを読む」と、イスラーム紹介に努める一方、「意識と本質～精神的東洋を求めて」、

ジャポ機墜落 1985 = 71歳 : 「意味の深みへ～東洋哲学の水辺」。大乘仏教の到達点を「華嚴」に見出して曼荼羅を招来した空海を論じ、その如来蔵思想から、密教こそ、アジアの神秘主義思想そのものと、「大乘起信論」を最後の対象として、

バブル始 ・ ・ 1986 = 72歳 : 「コスモスとアンチコスモス～東洋哲学のために」と、エラノス会議での思索をまとめて行く。

昭和天皇没 1989 = 75歳 : 「井筒俊彦著作集」全12巻が刊行開始。「冒頭で'神が語り、イスラームが始まる。神のコトバ、イスラームの全てがそこから始まる'と記す'超越のこぼれ～イスラーム・ユダヤ哲学における神と人」を出版してまもなく、

ソ連崩壊 ・ ・ 1991 = 77歳 : 司馬遼太郎との対談「二十世紀の闇と光」を最後に、

55年体制終 ・ 1993 = 79歳 : 没した。「意識の形而上学」が遺著となった。